



ヨウ素系除菌消臭剤

アイオサーブ

北海道防疫燻蒸株式会社

1. 特徴

- 天然系由来の消臭成分である、シクロデキストリン（CD）・ヨウ素・有機酸のトリプル消臭効果により、お部屋からペットの臭いまで幅広い用途でご活用いただけます。
- 人体に対する安全性に優れ、且つ環境への負荷がありません。
- ヨウ素には強い除菌作用と幅広い除菌スペクトル、およびウイルス不活化作用があります。長期間にわたりご利用いただいても耐性菌、耐性ウイルスが発生する心配はありません。
- 消臭目的なしの除菌剤としてもご使用頂けます。

2. 消臭効果

- 天然系由来の消臭成分である、シクロデキストリン・ヨウ素・有機酸の相乗効果により幅広い消臭スペクトルを示します。

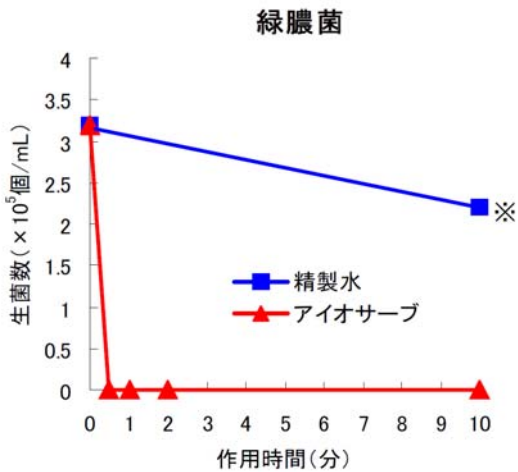
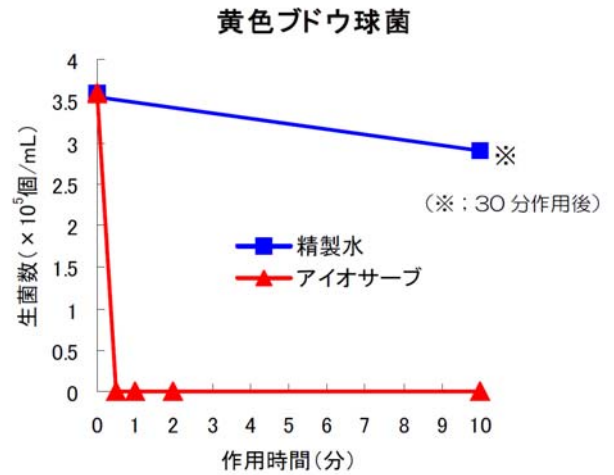
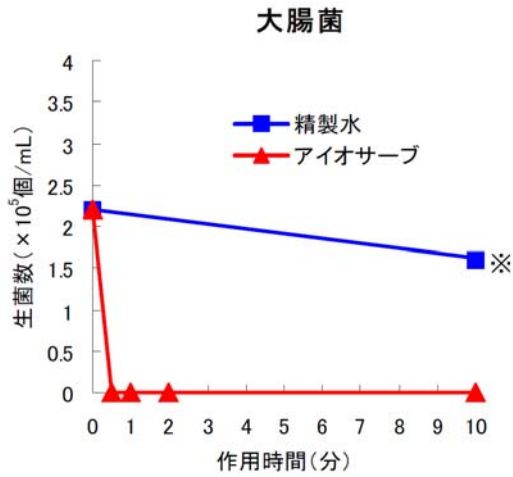
用途：タバコ臭・カビ臭・ペット臭・加齢臭・アンモニア臭・生ゴミ臭・その他腐敗臭に

アイオサーブの消臭スペクトル

悪臭成分名	アイオサーブに含まれる各成分の消臭効果		
	シクロデキストリン	ヨウ素	有機酸
アンモニア (糞尿・汗の臭い)			●
メチルメルカプタン (腐った玉ねぎ臭)		●	
硫化水素 (腐った卵臭)		●	
トリメチルアミン (腐った魚臭)			●
イソ吉草酸 (靴下の蒸れ臭)	●		
ノネール (加齢臭)	●		
インドール (老人臭)	●		
煙草臭	●	●	
ホルムアルデヒド	●	●	

3. 細菌に対する除菌効果

アイオサーブは大腸菌、黄色ブドウ球菌、および緑膿菌を 30 秒以内に死滅させることが明らかとなりました。



(試験: 日本食品分析センター)

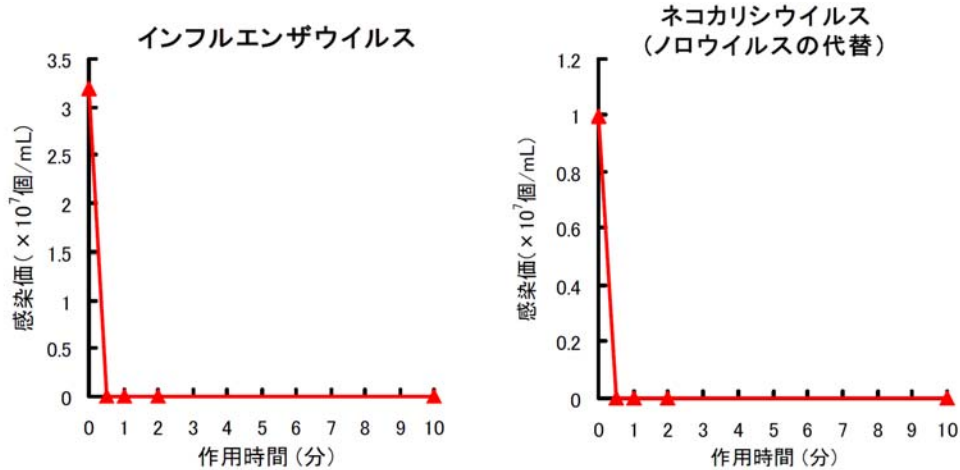
参考; 各種消毒剤の抗微生物スペクトル

	細菌					真菌	ウイルス	
	グラム陽性		グラム陰性				一般	H <th>H
	一般細菌	MRSA	芽胞	結核菌	一般細菌			
ヨウ素 (ポビドンヨード)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
次亜塩素酸ナトリウム	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎
消毒用エタノール	◎	◎	×	◎	◎	○	◎	◎
フェノール	◎	◎	×	◎	◎	○	×	×
塩酸アルキルジアミエチルグリシン	◎	○	×	○	◎	○	×	×
グルコン酸カルヘキシジン	◎	○	×	×	◎	○	×	×
塩化ベンゼトニウム	◎	○	×	×	◎	○	×	×
塩化ベンザルコニウム	◎	○	×	×	◎	○	×	×

◎: 有効, ○: 効果が弱い場合がある, ×: 無効

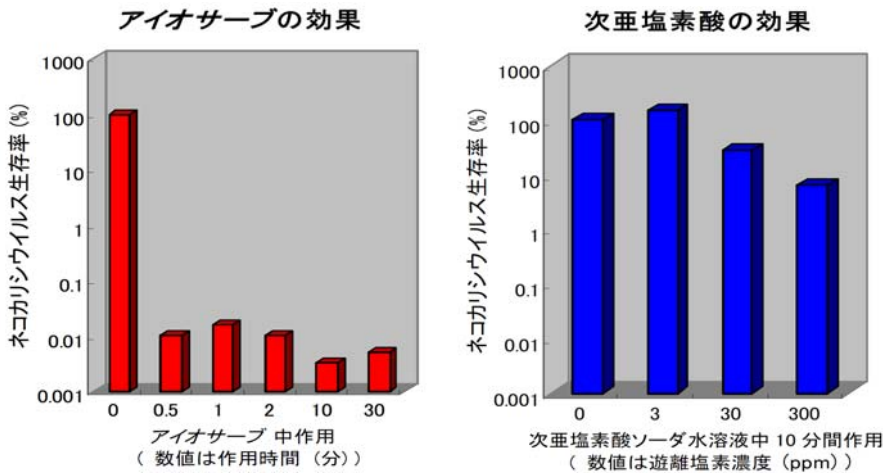
4. ウイルスの不活化効果

アイオサーブはインフルエンザウイルスとネコカリシウイルス（ノロウイルスの代替）を30秒以内に不活化させることが明らかとなりました。



(試験: 日本食品分析センター)

アイオサーブと次亜塩素酸の比較・効果



次亜塩素酸の効果：
E. Duizer *et al.* Applied and Environmental Microbiology, 70: 4538~4543 (2004) より

※アイオサーブは次亜塩素酸水溶液（200~300PPM）に比べ、ネコカリシウイルス（ノロウイルス代替）に対する不活化効果が極めて高かった。

5. 安全情報

結果

急性経口毒性試験、皮膚刺激性試験、皮膚感作性試験において、**アイオサーブ**には生体における影響が認められませんでした。

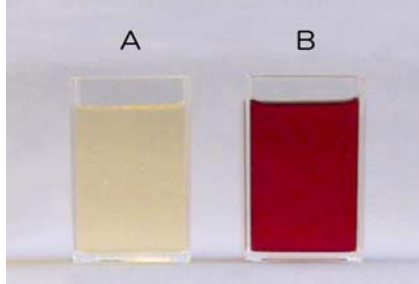
急性経口毒性 (マウス)	LD ₅₀ >2000mg/kg
皮膚刺激性 (ウサギ)	なし
皮膚感作性 (モルモット)	なし

(試験: 食品農医薬品安全性評価センター)

6. ヨウ素自己再生機能

- 独自のヨウ素自己再生機能により、除菌・ウイルス不活化・消臭効果を維持したまま、ヨウ素特有の茶色い色調を抑えました。

従来のヨウ素水溶液との色調の比較



A：アイオサーブ

B：アイオサーブと同じ潜在的ヨウ素濃度の水溶液（ヨウ素濃度 2,000ppm 相当）

（ヨウ素濃度を 50ppm にすればアイオサーブと同程度の色調の水溶液となりますが、潜在的ヨウ素濃度も 50ppm であるため噴霧や塗布後に瞬間的に効果が消滅してしまいます。）

7. 消臭及び除菌対策事例

☆ 消臭事例

- ホテル・食堂・住宅におけるタバコ・生ゴミ・カビ臭の消臭。
- ホテル葬・法事におけるお香臭の消臭。
- ペット・野犬・その他動物臭の消臭。
- 公衆浴場施設等、サウナ室の消臭。
- 住宅火災臭の消臭。
- 病院施設トイレ・尿瓶の消臭・除菌。
- 水産関係運搬車両の漁臭の消臭。
- 飼料倉庫における飼料臭の消臭。

☆ 除菌事例

- 老人福祉施設等の細菌・ウイルス対策。
- 保育園・幼稚園施設等の細菌・ウイルス対策。



8. 使用上の注意事項



- 色の薄い繊維や布に噴霧する場合は、予め目立たない部分で試してください。
- 金属に対して噴霧した場合に、腐蝕が生じることがあります。
- 子供の手が届く所に置かないでください。
- 顔に向けて噴霧しないでください。
- 動物に向けて直接噴霧しないでください。
- 目に入った場合は、水でよく洗い流してください。
- 香料等の添加物や汚れ等の夾雑物の種類によっては、本剤の活性や安定性が低下することがあります。
- 使用中または使用後に悪心、咳き込み、皮膚や目の違和感などが現れた時は、使用を中止してください。
- ヨウ素に過敏症の既往歴がある方は、使用時にご注意ください。
- 室内にて直射日光を避けて保管してください。

製造・販売元

北海道防疫燻蒸株式会社

〒059-1374 北海道苫小牧市晴海町11番地

TEL : 0144-55-2563

FAX : 0144-55-2574

URL : www.hsc.or.jp/doukun/

E-mail : dokunj@dokun.jp